

2024 年度 事業報告

第11期 自 2024年4月1日 ～ 至 2025年3月31日

社会福祉法人しあわせネットワーク

法人 / 事業所 概要

法 人 名	社会福祉法人しあわせネットワーク
法人設立年月日	2014 年 4 月 1 日
代 表 者	理事長 一井 光夫
所 在 地	京都府福知山市字天田小字額田 426 番地
連 絡 先	TEL:0773-22-4659 FAX:0773-22-4669 E-mail : info@shiawase-net.jp
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.shiawase-net.jp
事 業 内 容	第 2 種社会福祉事業 (ア) 障がい福祉サービス事業の経営
事 業 所 名	しあわせネット・勇気
事 業 種 類	就労継続支援 B 型
定 員	20 名
代 表 者	所長 一井 光夫

理事会及び評議員会開催状況

【理事会】

日付	議会名	議題
6 月 3 日	第 1 回 理事会	1. 2023 年度事業報告及び 2023 年度計算関係書類並びに財産目録の承認の件 2. 職員賞与・処遇改善一時金の件 3. 定時評議員会の招集の件
9 月 19 日	第 2 回 理事会	1. 給与に関する規程別表の一部変更の件 2. 工賃規程の一部改訂の件 3. 旅費規程の改定の件 4. リスク管理規程の制定の件 5. 個人情報取扱規程の全部改正の件
10 月 25 日	第 3 回 理事会 (書面)	1. 契約職員就業規則の一部改定の件
12 月 4 日	第 4 回 理事会	1. 2024 年度第 1 次補正予算（案）の件 2. 職員就業規則の一部変更の件 3. 職員の賞与等の件 4. 評議員会の招集の件
3 月 14 日	第 5 回 理事会	1. 2024 年度第 2 次補正予算（案）の件 2. 2025 年度事業方針（案）の件 3. 2025 年度当初予算（案）の件 4. 諸規程・諸規則の改定の件 5. 評議員会の招集の件

【評議員会】

日付	議会名	議題
6月24日	第1回 評議員会	1. 2023年度事業報告及び2023年度計算関係書類並びに財産目録の承認の件
12月16日	第2回 評議員会	1. 2024年度第1次補正予算（案）の件 1. 2023年度第2次補正予算（案）の件
3月26日	第3回 評議員会	2. 2024年度事業方針（案）の件 3. 2024年度当初予算（案）の件

事業の経過およびその成果

当期につきましては、3年に一度の報酬改定が行われました。日頃から工賃向上を目指し取り組んできたことで、就労継続支援B型の平均工賃月額区分を上げ、基本報酬単位が上がった影響が大きく、また利用率も前期比6.5%増、食品製造班の商品も順調に販売を伸ばし、サービス活動収益は、前期比20.4%増の66,474千円となりました。サービス活動費用は、職員の賃金引き上げや物価高騰の影響を受け、前期比8.7%増の61,092千円となり、結果的にサービス活動増減差額は5,381千円となりました。補助金や助成金を活用し、職員の古くなったパソコン等の入替も行い、働きやすい職場環境づくりを進めました。

職員の人材育成・定着

キャリアパスの育成計画に基づき各種外部研修に積極的に参加をしました。内部研修では、全職員を対象に感染症対策研修、虐待防止・身体拘束適正化研修、BCP、防災研修を実施しました。2024年度報酬改定に伴い2024年6月から福祉・介護職員等処遇改善加算が一本化され、福祉・介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）を継続して取得し、職員の処遇改善を進めました。

地域貢献活動

職業体験実習として地元高等学校生4名の受入れを行いました。地域貢献活動と位置づけられている「わっかプロジェクト」（京都地域福祉創生事業）に参画し、資金協力を行いました。また地域で活動されている「ベルつながりの会」様にお声がけいただき、今年度からベルマーク回収BOXを事業所に設置しベルマーク収集に協力をさせていただきました。集まったベルマークは「ベルつながりの会」様を通じて市内の中学校へと寄贈されます。

就労支援事業

【食品製造班】

当期につきましては、製菓の販売において販売先等への適時納品を欠かすことなく行い、順調に販売を伸ばすことができました。弁当販売においては、販売日・販売先を増やすなどしてご利用者の作業量確保に努めました。また、出店販売等におけるバーコード決済の導入を行い購入者の多様なニーズに対応できるように努めました。例年同様、夏季・冬季と年2回取り組むご利用者のボーナスづくりにおいては、新たに弁当販売を取り入れご利用者の工賃向上に貢献することができました。物価高騰の影響を受け、原材料の値上がりにも苦慮しながらも、使用材料の見直しや売価変更などの工夫を重ねながら取り組みました。

【リサイクル班】

当期につきましては、資源回収（段ボール、雑誌、新聞紙、缶、ペットボトル、廃食用油）を実施しました。事業所内ではペットボトルの洗浄・プレス作業、アルミ缶、スチール缶の選別・プレス作業に取り組みました。委託事業である不法投棄防止パトロール、長安寺公園憩いの家の清掃作業にと施設外就労にも取り組みました。また暑さ対策に空調服の導入を行い、働きやすい環境整備に努めました。

虐待及び身体拘束の状況

虐待の状況	障がい者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断して市町村へ通報した事案は1件でした
身体拘束の状況	当法人では原則として身体拘束は行いません

委員会活動

【身体拘束適正化・虐待防止委員会】

委員会を6回開催し、年間計画を作成し計画に基づいてセルフチェックや職員研修、振り返り等を実施することにより理解を深め、職員全員で身体拘束適正化・虐待防止に取り組みました。また、虐待が疑われる事案については、速やかに市と連携し対応を行いました。

【感染対策委員会】

委員会を4回開催し、年間計画を作成し計画にもとづいて研修・訓練を実施しました。手指衛生の基本を学び、また感染症発生時の対応についての訓練等により、日頃からの備えに努めました。

【業務改善委員会】

当期から職員の生産性向上（業務改善及び環境改善）の観点から取り入れた業務改善委員会を1回開催し、現場の課題について各職員から意見を出し合い、現場の課題の見える化に取り組みました。

事故報告

当期につきましては、車両事故等はありませんでした。

第三者評価受診

実施日	2025年1月29日
対象事業所名	しあわせネット・勇氣
実施場所	社会福祉法人しあわせネットワーク
評価機関	一般社団法人 京都社会福祉士会

ご利用者自治会「にじいろの会」活動

4月の総会で会長が交代し、新しい体制で3年目の活動がスタートしました。各月とも役員のメンバーを中心に内容を考え、楽しい行事を行うことができました。9月には5年ぶりに外部のお客様も迎えた「レインボー祭り」を開催。後援会の協力も得て地域の方々との交流も行いました。当初年度末に予定していたバス旅行は、「公益財団法人公益推進協会」様の助成によりユニバーサルスタジオジャパンへ行けることになり、混雑時期を避けた4月に日移し、代わりにカラオケ大会を実施しました。4月に予定するユニバーサルスタジオジャパン行きに期待を大きく膨らませつつ、2024年度の活動は終了しました。

月	内容（参加利用者数）	月	内容（参加利用者数）
4月	定期総会・ビンゴゲーム（20名）	10月	ハロウィンクッキーづくり（18名）
5月	遠足 舞鶴とれとれセンター（22名）	11月	バーベキュー大会（21名）
6月	ふれあい大運動会（15名）	12月	クリスマスケーキづくり（17名）
7月	納涼祭（20名）	1月	ゲーム大会（17名）
8月	冷菓づくり（17名）	2月	バレンタインチョコづくり（14名）
9月	レインボー祭り（19名）	3月	カラオケ大会（18名）

ご利用者・ご家族様 アンケート結果のご報告

ご利用者とご家族様を対象にサービスの質の向上を目的としたアンケート調査を実施させていただきました。回答率は95%となりました。皆様からの貴重なご意見を今後の活動に反映させるべく努め、サービスの質の向上に取り組んでまいります。

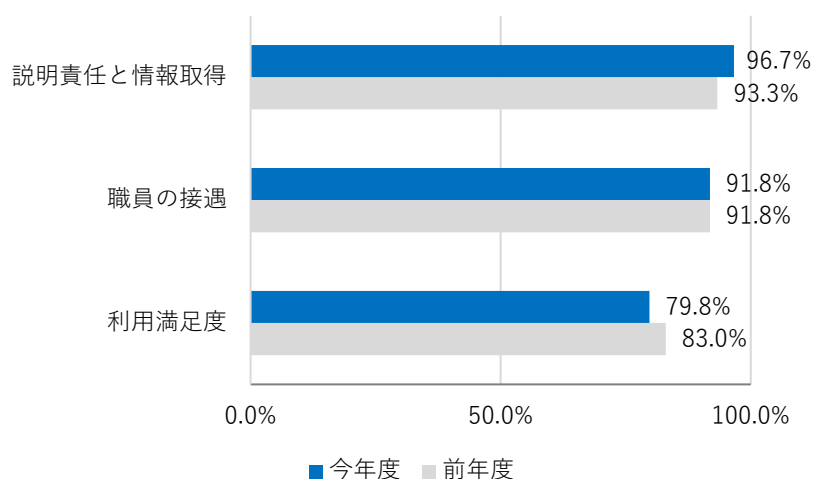
事業所の説明責任と情報取得について	はい	いいえ	わからない
① 通所に関する情報は得やすかったですか	100%	0%	0%
② 職員はプライバシーを守ってくれますか	95%	0%	5%
③ 個別支援計画書は、あなたやご家族の希望に沿っていますか	95%	0%	5%

職員の接遇について	はい	いいえ	わからない
④ 職員の身だしなみは清潔感や好感がもてますか	95%	5%	0%
⑤ 職員は親切・丁寧に接してくれますか	90%	10%	0%
⑥ 職員は相談などを含め、話がしやすいですか	85%	10%	5%
⑦ 職員から怒鳴られたりしたことないですか	95%	5%	0%
⑧ 職員からたたかれたりしたことないですか	100%	0%	0%
⑨ あなたが困ったとき、職員は助けてくれますか	86%	14%	0%

事業所の利用満足度について	はい	いいえ	わからない
⑩ 利用者同士の交流など、仲間との関係は楽しいですか	76%	5%	19%
⑪ 事業所は快適に作業ができる環境ですか	76%	10%	14%
⑫ 事業所の建物や設備は安心して使えますか	86%	14%	0%
⑬ 総合的にみて、当事業所を利用させて満足していますか	81%	5%	14%

グループホーム設置について	はい	いいえ	わからない
⑭ 当法人でグループホームを設置した場合、利用したいですか	29%	33%	38%

【区分別前年度比較「はい」と答えた割合】



前年度調査と比較すると、区分別では「説明責任と情報取得」ではプラスポイントとなっています。ただ「職員の接遇」、「利用満足度」はマイナスポイントとなる項目もあり今後の課題として取組み、よりサービスの質の向上及び環境改善に努めます。またグループホームの利用につきましては、現時点では29%の方が希望をされています。また自由記入欄への記入としまして、「工賃を上げて欲しい」「作業スペースを広くしてほしい」などの意見があがりました。

利用状況

当期の利用状況につきましては、4月に1名の新規利用、8月と12月に合計3名の方が利用解除となり3月末時点での登録利用者数は22名となりました。平均利用率は前期比で6.5%増の99.1%という状況となりました。

【登録利用者数】			【工賃】	
新規利用者数	利用解除者数	登録利用者数	平均工賃月額	24,142 円
1 名	3 名	22 名	※年 2 回ボーナスづくり取組合む	

【障がい種別】					
身体	療育	精神	身体/療育（重複）	精神/療育（重複）	その他
3 人	13 人	2 人	2 人	1 人	1 人

【年代別】（平均年齢：40.9 歳）						
10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
1 人	9 人	1 人	4 人	0 人	6 人	1 人

【利用率】（平均利用率：99.1%）					
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
108.3%	105.6%	105.9%	100.2%	97.9%	105.7%
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
88.9%	100.7%	90.4%	93.4%	97.8%	94.2%

職員状況

当期の職員につきましては、新規採用・退職ともに無く8人体制のまま推移しております。

【体制】		【年代】		【福祉系資格等】	
職種	人数	年代	人数	資格等種別	保有人数
管理者	1 人	20 代	1 人	福祉有償運送移動・送迎運転講習修了	7 人
サービス管理責任者	1 人	30 代	2 人	ホームヘルパー2 級	1 人
職業指導員	4 人	40 代	3 人	介護職員初任者研修修了	4 人
生活支援員	1 人	50 代	1 人	介護福祉士	1 人
目標工賃達成指導員	1 人	60 代	1 人		
合計	8 人	平均年齢	44.8 歳		

【年次有給休暇の取得状況】				【リフレッシュ休暇の取得状況】		
付与人数	付与総日数	取得総日数	取得率	付与人数	取得人数	取得率
8 人	152 日	171.5 日	112.8%	8 人	6 人	75.0%

【採用・退職】			
新規採用者数	0 人	退職者数	0 人

財務状況

【事業活動計算書】（要旨）

勘定科目	金額
就労支援事業収益	17,403 千円
障害福祉サービス事業収益	48,868 千円
経常経費寄附金収益	203 千円
サービス活動収益	66,474 千円
人件費	34,856 千円
事業費	2,597 千円
事務費	4,642 千円
就労支援事業費用	16,493 千円
減価償却費	3,533 千円
国庫補助金等特別積立金取崩額	△1,030 千円
サービス活動費用計	61,092 千円
サービス活動増減差額	5,381 千円
サービス活動外収益計	341 千円
サービス活動外費用計	181 千円
サービス活動外増減差額	160 千円
経常増減差額	5,542 千円
特別収益計	621 千円
特別費用計	0 千円
特別増減差額	620 千円
当期活動増減差額	6,163 千円
前期繰越活動増減差額	15,367 千円
次期繰越活動増減差額	21,530 千円

【資金収支計算書】（要旨）

勘定科目	金額
事業活動資金収支差額	7,987 千円
施設整備等資金収支差額	△1,018 千円
その他の活動資金収支差額	△4,595 千円
当期資金収支差額合計	2,373 千円
前期末支払資金残高	17,407 千円
当期末支払資金残高	19,780 千円

【貸借対照表】（要旨）

勘定科目	当期末 (2025.3.31 現在)
【資産の部】	
流動資産	24,605 千円
固定資産	41,876 千円
資産の部合計	66,482 千円
【負債の部】	
流動負債	9,416 千円
固定負債	18,197 千円
負債の部合計	27,613 千円
【純資産の部】	
国庫補助金等特別積立金	17,338 千円
次期繰越活動増減差額	21,530 千円
純資産の部合計	38,869 千円
負債及び純資産合計	66,482 千円

※千円未満切捨ての為、誤差が生じる場合がございます。